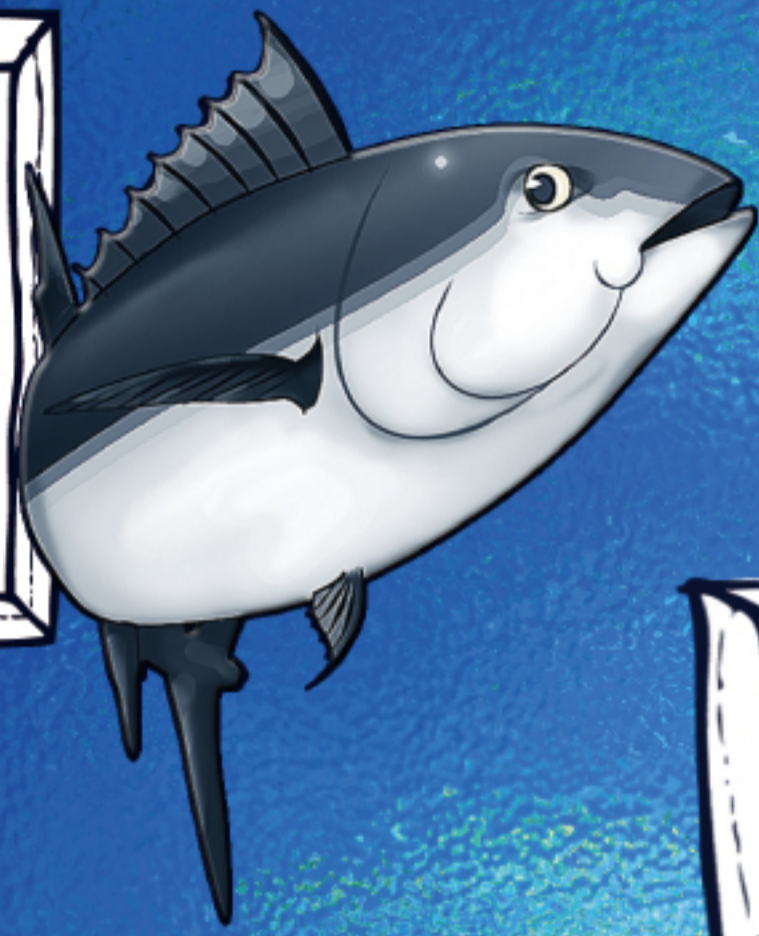


クロマグロ
 学名: *Thunnus Orientalis*
 英名: Pacific Bluefin Tuna
 飼いやすさ★
 スピード★★★★★

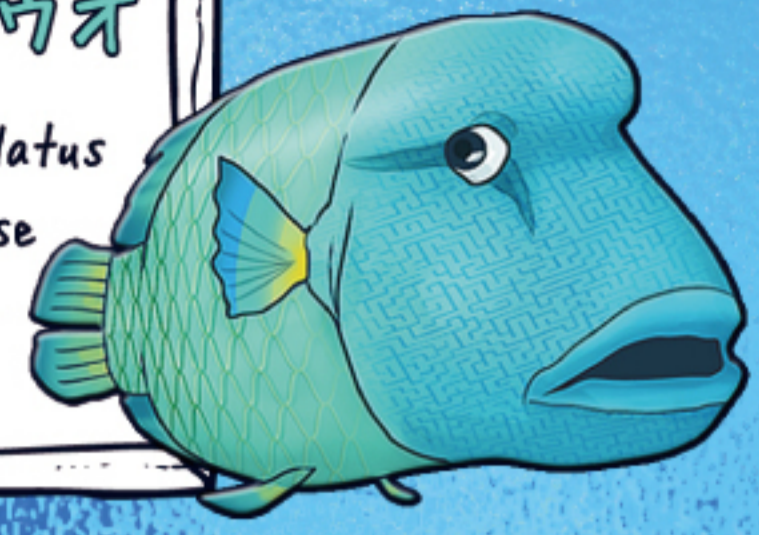


串本海中公園水族館(ゾーン)

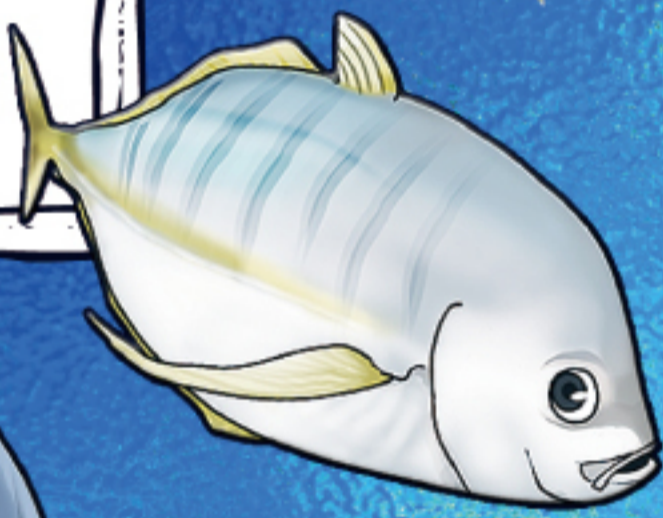
トンネル水槽のひみつ
 -the Secret of Tunnel Water Tank-

- 全長・・・24m
- 深さ・・・4.8m
- 水量・・・1250トン
- 総数・・・約1300匹
- 種類・・・78種

メガネモ千ノウオ
 学名: *Cheilinus Undulatus*
 英名: Humphead Wrasse
 かあいさ★★★★★
 スピード★

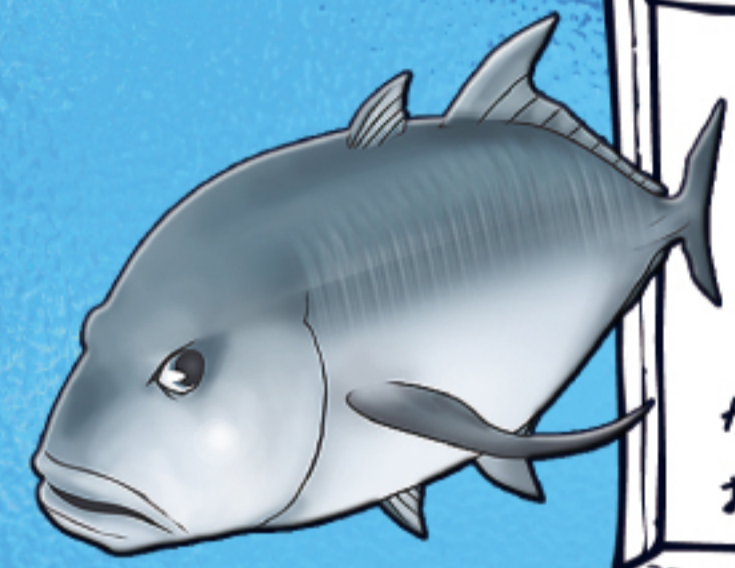


シマアジ
 学名: *Pseudocaranx Dentex*
 英名: White Trevally
 おいしさ★★★★★
 きれいさ★★★★



タカハ

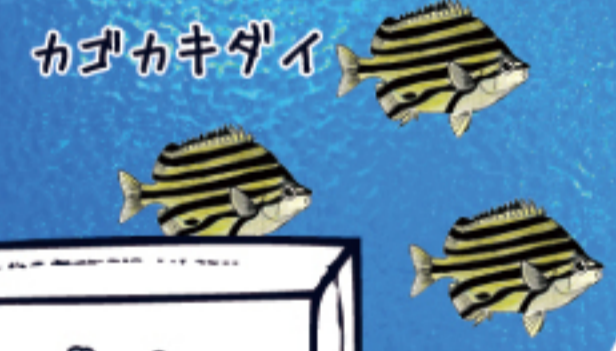
ロウニンアジ
 学名: *Caranx Ignobilis*
 英名: Giant Trevally
 かっこよさ★★★★★
 おおぐい★★★★★



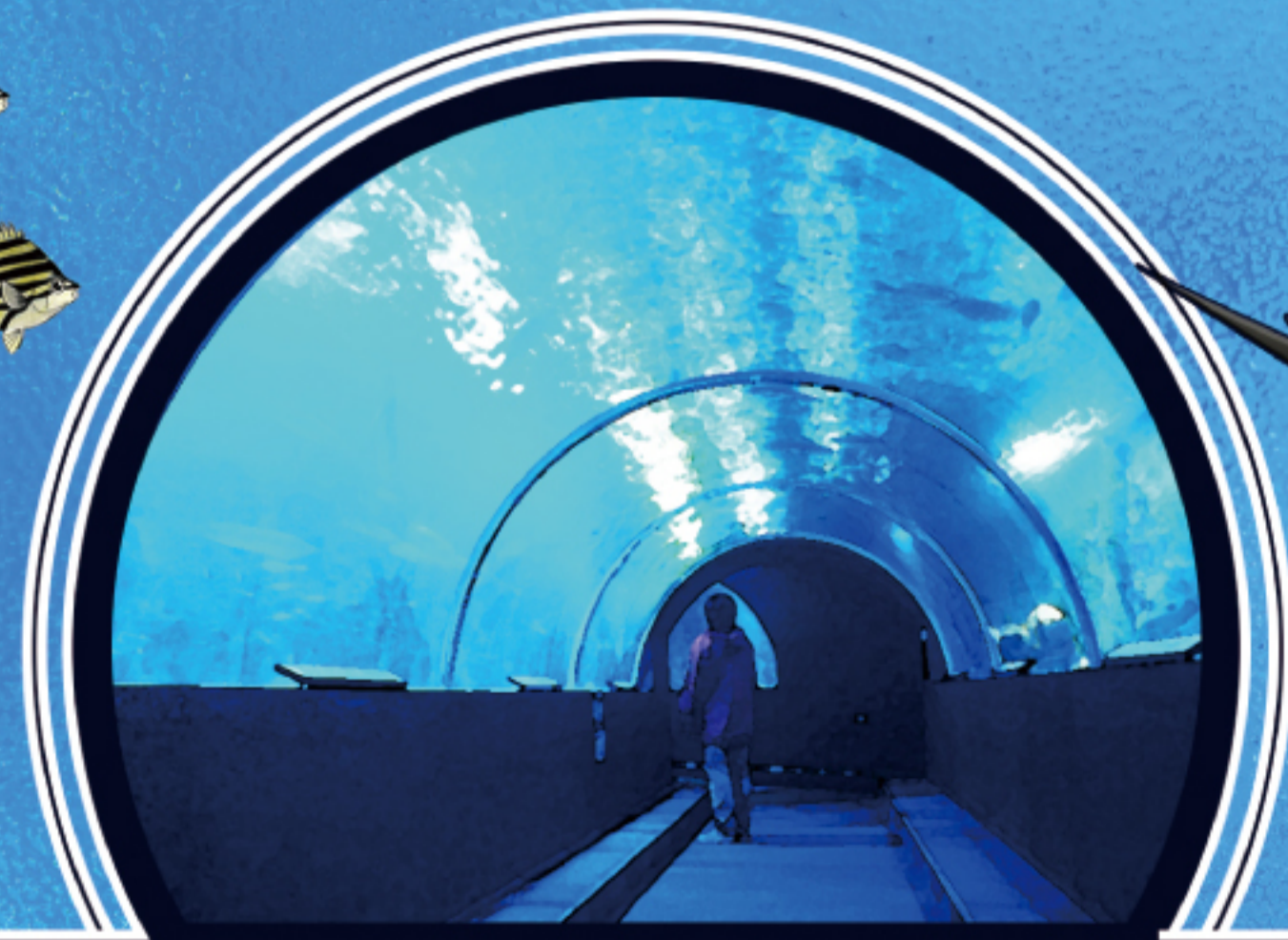
マアジ



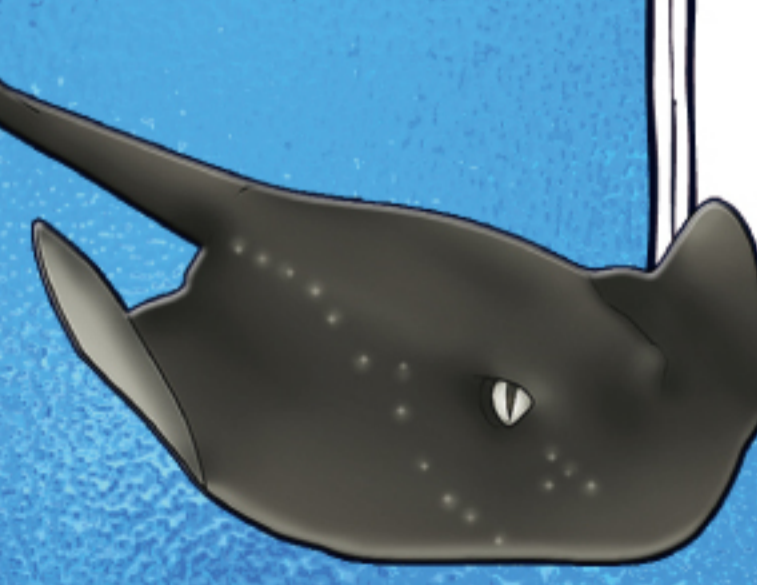
メジロザメ
 学名: *Carcharhinus Plumbeus*
 英名: Sandbar Shark
 かっこよさ★★★★★
 ながいき★★★★★



カゴカキダイ



ホシエイ
 学名: *Dasyatis Matsubarae*
 英名: Pitte Stingray
 おおきさ★★★★★
 こうげきりよく★★★★★

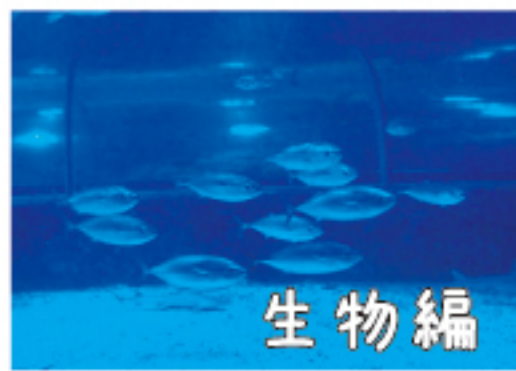


串本海中公園

裏面もあるよ!



担当:よしだ☆どう
 さかな家★★★★★



生物編

水族館の裏ネタ



施設編

★小さい魚はサメなどの大きい魚に食べられたりしないの？

基本的には毎日十分な量の餌を与えているので食べられたりはしないです。しかし、食欲の秋になるとロウニンアジやギンガメアジなどの肉食の魚が急に食欲が出て小魚を襲うことがあります。なのでその時期は少しづつ補充しています。

★トンネル水槽の魚はどうやって手に入れているの？

トンネル水槽の魚たちは主にスタッフが釣ってきたり、潜って捕ってきたり、漁師さんにもらったりして串本の海で集めた魚ばかりです。地域密着型的水族館だからこそ成せる技ですね。

★トンネル水槽の生物はどれくらい生きるの？

当館は自然海水を使っているのでトンネル水槽内は海とそんなに変わらない環境を維持しています。なので水槽に馴染みやすく長生きする生き物が多いのです。メジロザメはトンネル水槽が出来た24年前からずっとトンネル水槽で飼っている個体です。

★トンネル水槽にはどれくらいの生き物がいるの？

ズバリ78種約1300匹の生き物を展示しています。餌の時間になると岩や砂の中から出てくる生き物があります。よく見ると砂から目だけが出ていたり、岩に体の色を似せて岩に張り付いている生き物があります。見つけてみましょう。

★バックヤード(裏側)はどうして暗いの？

バックヤードが暗いのは窓を開けるとトンネル水槽の中から見上げたときに逆光になって水槽の魚が見えなくなってしまうからです。また水槽の照明には特殊な青色のライトを使っているため、この効果を落とさないようにするためにも、自然光はできる限り抑えています。

★水槽の中の魚って大きく見えるっていついけど？

水槽の中の魚が少し大きく見えるのは本当です。ただそれは水槽のガラスが平面の場合だけで、トンネル水槽の場合は水槽のガラス(正しくは強化プラスチック)自体が逆レンズの働きをして、魚はむしろ小さく見えてしまいます。水槽への通路横にある縦長の窓を覗いてみて下さい。大きさの違いに驚くでしょう。

★バックヤードはどうしてこんなにうるさいの？

バックヤードには様々な機械があるのでその音は大変大きくなります。音は水を送るポンプやボイラーなどから出ますが、中でも特にうるさいのは空気を送り出すコンプレッサーという機械です。水深が5mもある水槽に空気を送るには大変な力があるので、その騒音は相当なものです。

★トンネル水槽の水はどこから持ってくるの？

この水槽には1200トン(お風呂約6000杯分)もの海水が入っていますが、この水は常に入れ替わっています。ここでは海から汲み上げられた水が水槽に入れられ、溢れた水は海に戻ります。串本海中公園の海はとてもきれいなので、海から汲み上げた水をそのまま水槽で使える数少ない水族館となっています。

飼育スタッフのオススメ BEST 4

1 クロマグロ



クロマグロはとても臆病で神経質な魚です。ちょっとした音や光に驚いてパニックになり、壁に激突して死んでしまうことがあります。水槽でのクロマグロ飼育は難しく、全国でも数館しか飼育されていません。トンネル水槽でクロマグロを観察できるのは珍しいことかもしれません。

2 ヒメウミガメ



ヒメウミガメは日本ではほとんど見られない珍しいウミガメです。このカメは25年前に串本の網に掛かり大けがを負いました。その時の影響で水に潜れなくなり、25年間水族館の裏側で保護していました。しかし、ある日突然潜れるようになったので水槽にデビューさせたカメなんです。まさに「奇跡のカメ」ですね。

3 コバンザメ



トンネル水槽には2匹のコバンザメが主にメジロザメにくっついて生活を共にしています。大きい生き物にくっついて泳ぐことによって身を守ってもらったり、餌のおこぼれをもらったりして生きている魚なのです。ちょっとせこいですね。

4 メジロザメ



メジロザメはトンネル水槽が出来た24年前からずっと飼育しているので推定年齢30歳以上です。メジロザメはおとなしい性格ですが、一応肉食のサメですので水槽に潜って掃除する際は念のため餌をたくさんあげ、お腹いっぱいにしてから掃除しています。

飼育スタッフの仕事



ブラシ掃除

掃除

トンネル水槽の裏側にはトンネル水槽を掃除する大きなブラシがあります。このブラシをコントローラーで操作して毎朝掃除しています。



潜水掃除

毎朝のブラシ掃除だけでは完全には汚れは取れないので、定期的に水槽に潜ってガラスを掃除したり、底に貯まった汚れなんかを吸い取りして水質を維持しています。



エサ準備

給餌

トンネル水槽には1300匹もの生き物を飼っているため毎日たくさんの餌が必要です。あげる回数や量は時期によって違い、毎日1~2回10~30kg程度を準備しています。いろんな大きさの生き物がいて、食べ方も様々なのでその魚に合わせてアジを丸のままあげたり、細かい魚の切り身や、アミエビなどいろいろ混ぜて作っています。



エサやり

トンネル水槽スタッフのGoよりひとこと。

トンネル水槽の魚について疑問に思うことがありましたらお気軽にお声をかけて下さい!!



趣味
フィッシング